

岩見沢市こども計画策定のための

岩見沢市 こども・子育て事業所調査

結果報告書

令和6(2024)年9月

目次

第1章 調査の目的等	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査の種類と実施方法	1
1-3 配布と回収状況	1
1-4 集計結果の表し方	1
第2章 集計結果	2
2-1 事業所の属性	2
(1) 活動内容・事業内容	2
(2) スタッフの職種	3
2-2 子育て支援について	4
(1) 事業を通じての養育環境について	4
(2) 養育環境に関する過去1年間の対応件数	6
(3) 取り組むべき内容	8
第3章 自由意見	9

第1章 調査の目的等

1-1 調査の目的

岩見沢市では、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までを「第2期岩見沢市子ども・子育てプラン」を策定し、教育・保育・子育て支援の充実を進めてきました。

今回、令和7（2025）年度を初年度とする「岩見沢市こども計画」の策定に向けて、事業所の皆さまの子ども・子育てに関するご意見等をお伺いし、今後の施策を検討するうえで基礎的な資料とさせていただくことを目的に本調査を実施しました。

1-2 調査の種類と実施方法

調査の種類	対象者	調査方法
事業所向け調査	市内の子育て関連事業所	郵送による配布 郵送及びWEB回収

【調査期間】令和6年8月1日～8月26日

【調査対象地区】市内全域

1-3 配布と回収状況

調査の種類	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
事業所向け調査	52	39	39	75.0%

1-4 集計結果の表し方

- ・設問は単一回答、複数回答（例：当てはまるものすべてに○）の2種類があります。
- ・単純集計の単一回答は円グラフ、複数回答は横棒グラフで表しています。
- ・図表の数値は、各設問の無回答を含む回答者数に対する百分率（％）で表しています（一部、無回答が多い設問については回答者数で分母として算出）。
- ・百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問では、百分率の合計が100%を超えることがあります。
- ・回答者数（n）が少ない項目については、比率で見るとは注意が必要です。

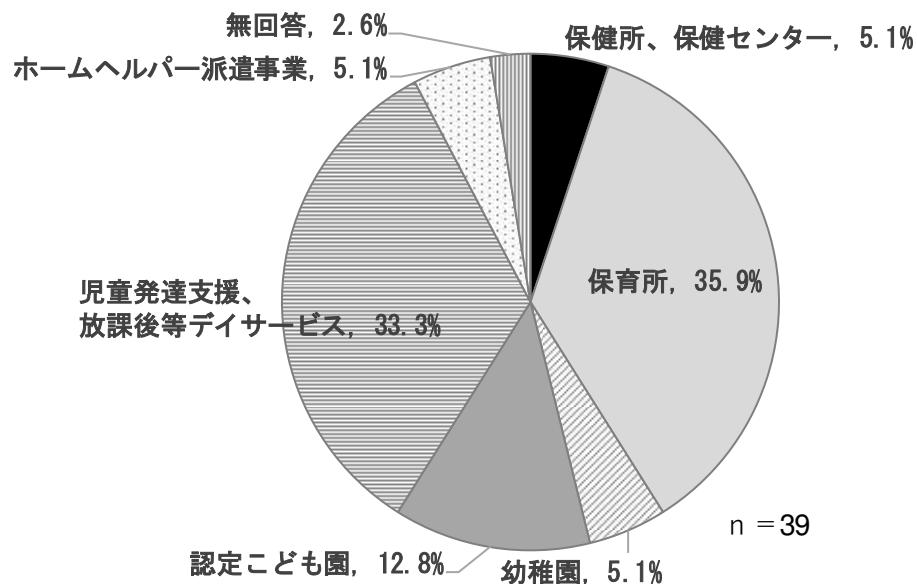
第2章 集計結果

2-1 事業所の属性

(1) 活動内容・事業内容

問1 あなたの団体・施設の活動内容・事業内容はどのようなものですか。(○は1つ)

団体・施設の活動内容・事業内容では、「保育所」(35.9%)が最も高く、次いで「児童発達支援、放課後等デイサービス」(33.3%)、「認定こども園」(12.8%)となっています。



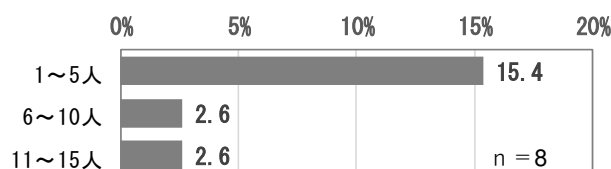
(2) スタッフの職種

問2 令和6年4月1日現在、あなたの団体・施設にはどのようなスタッフがありますか。

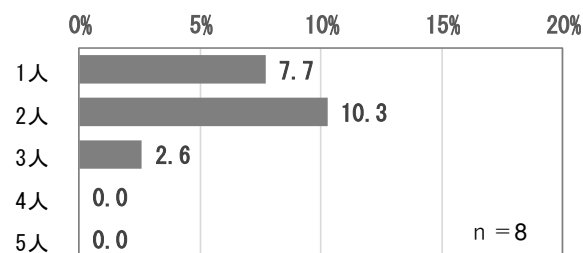
職種別に人数をお書きください。

団体・施設にいるスタッフについては、以下のとおりとなっています。

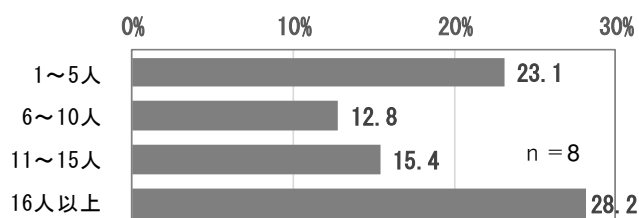
1. 保健師、看護師



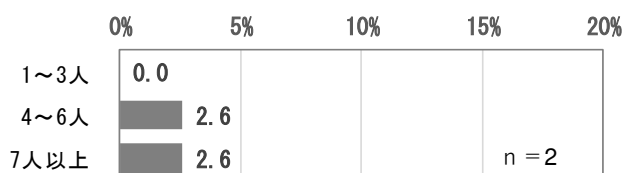
2. 教員（小、中、高、特別支援）



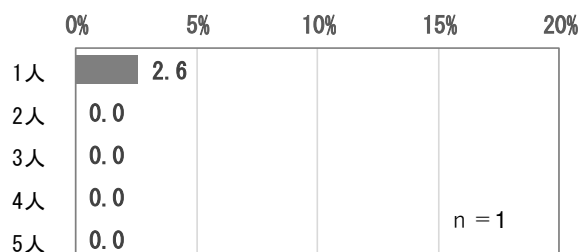
3. 保育士、幼稚園教諭



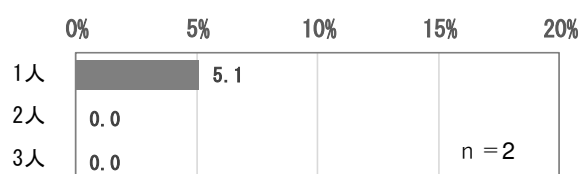
4. ホームヘルパー



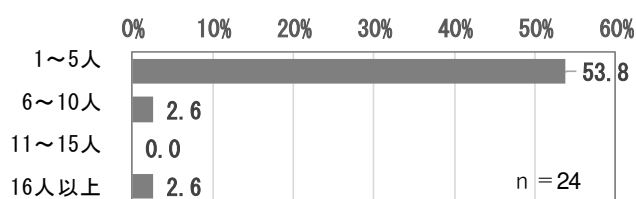
5. 臨床心理士・公認心理士



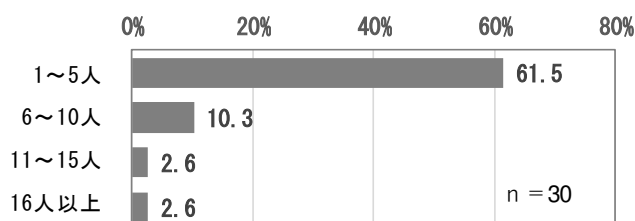
6. 作業療法士



9. 事務職



10. その他



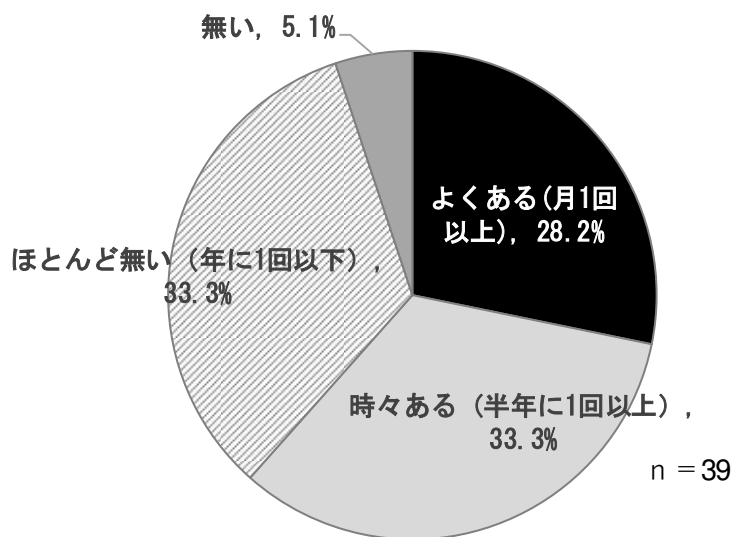
※7. 言語聴覚士、8. ボランティアは該当者なしのためコメント省略。

2-2 子育て支援について

(1) 事業を通じての養育環境について

問3 普段の活動や事業を実施する中で、養育環境など、こどもにとってリスクが高いと思われる家庭に接することはありますか。(○は1つ)

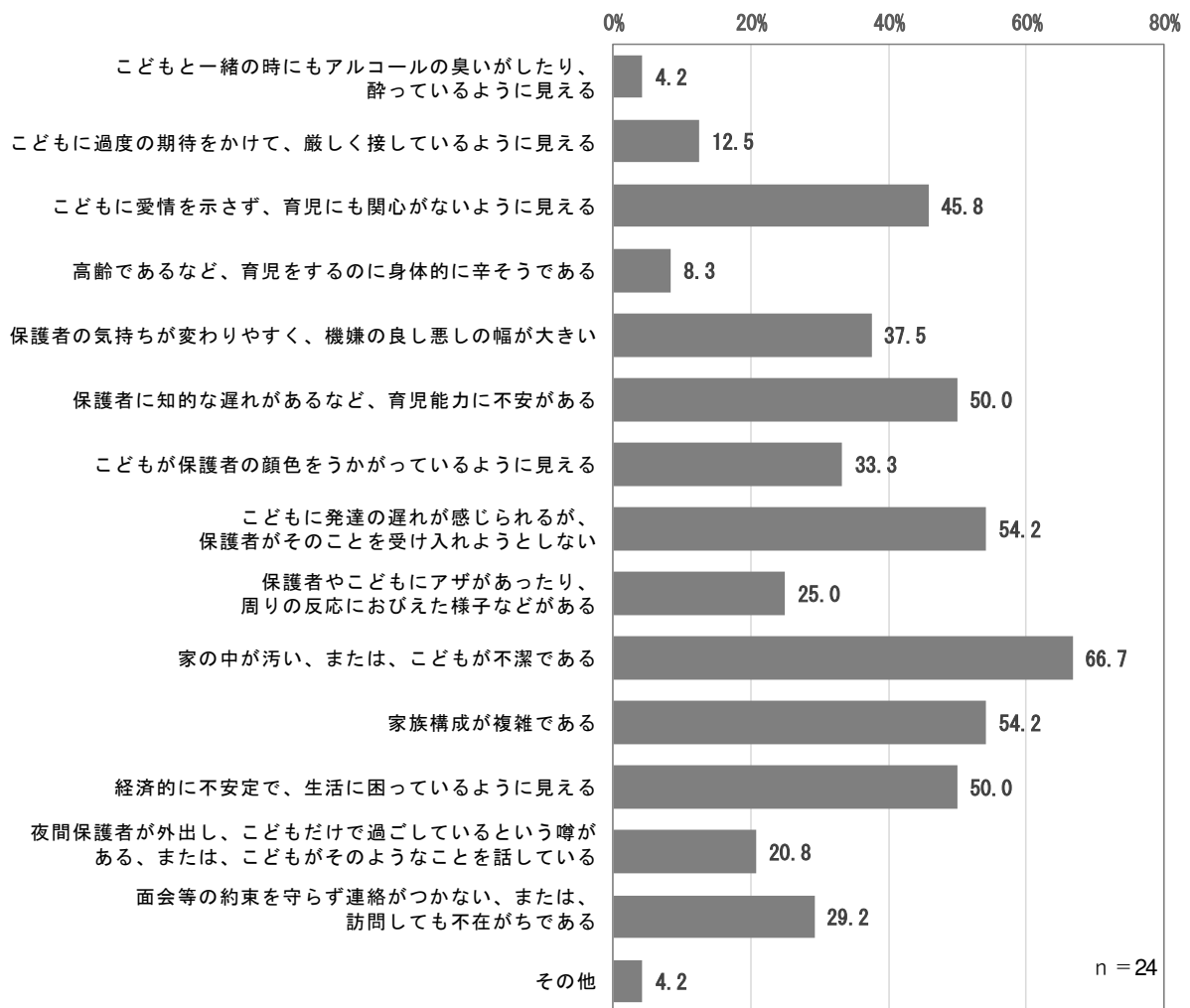
普段の活動や事業を実施する中で、養育環境など、こどもにとってリスクが高いと思われる家庭に接することについては、「時々ある(半年に1回以上)」及び「ほとんど無い(年に1回以下)」(33.3%)が最も高く、次いで「よくある(月1回以上)」(28.2%)、「無い」(5.1%)となっています。



問3で「1.よくある」、「2.時々ある」を選んだ方におうかがいします。

問4 それはどのようなケースですか。（あてはまるものすべてに○）

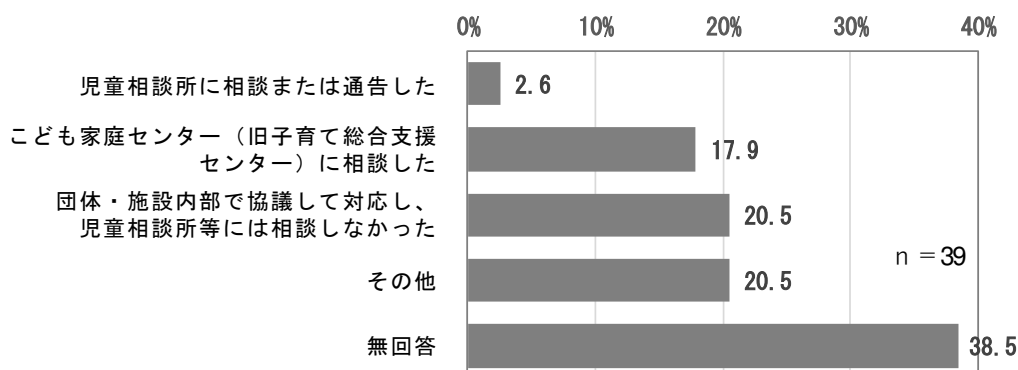
どのようなケースでは、「家の中が汚い、または、こどもが不潔である」（66.7%）が最も高く、次いで「家族構成が複雑である」及び「こどもに発達の遅れが感じられるが、保護者がそのことを受け入れようとしな（54.2%）となっています。



(2) 養育環境に関する過去1年間の対応件数

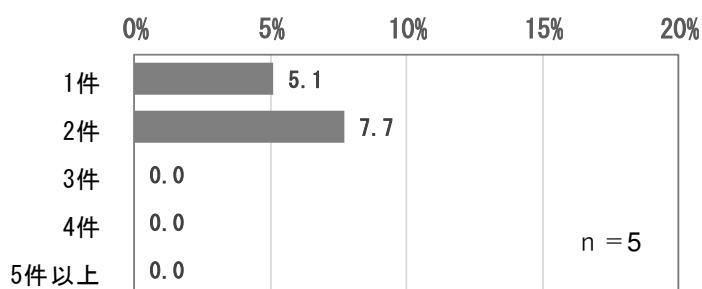
問5 その際、どのような対応をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけ、過去1年間に対応した件数を記入してください。

どのような対応方法をしたかについては、「団体・施設内部で協議して対応し、児童相談所等には相談しなかった」(20.5%)が最も高く、次いで「こども家庭センター(旧子育て総合支援センター)に相談した」(17.9%)、「児童相談所に相談または通告した」(2.6%)となっています。



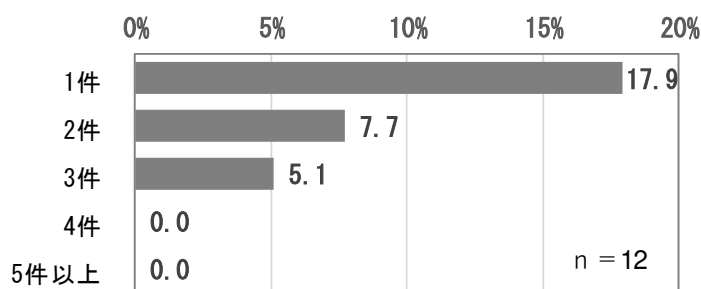
【1年間の対応した件数】

児童相談所に相談または通告した

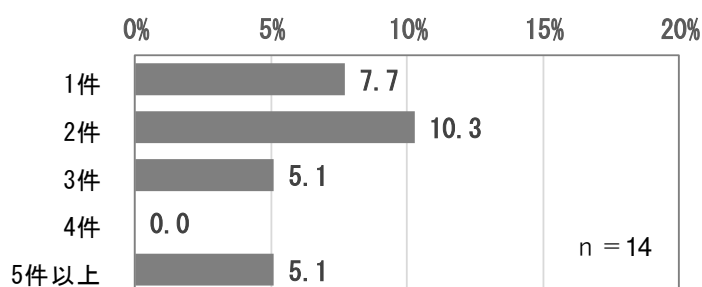


こども家庭センター

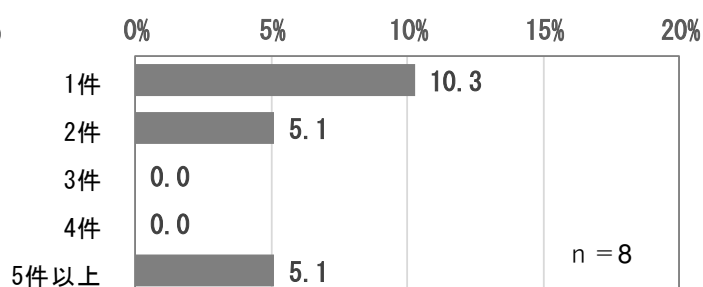
(旧子育て総合支援センター)に相談した



団体・施設内部で協議して対応し、 児童相談所等には相談しなかった

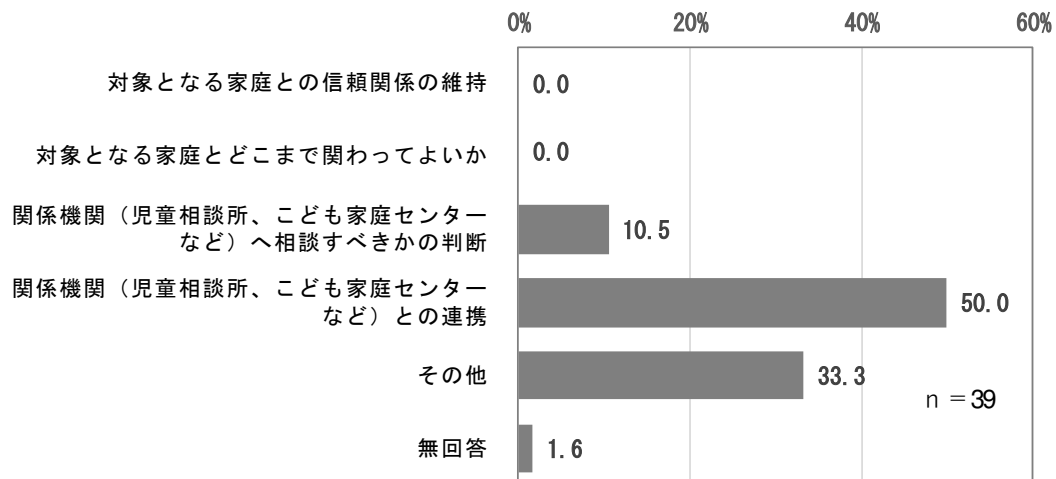


その他



問6 対応の際、苦慮することや困難を感じることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

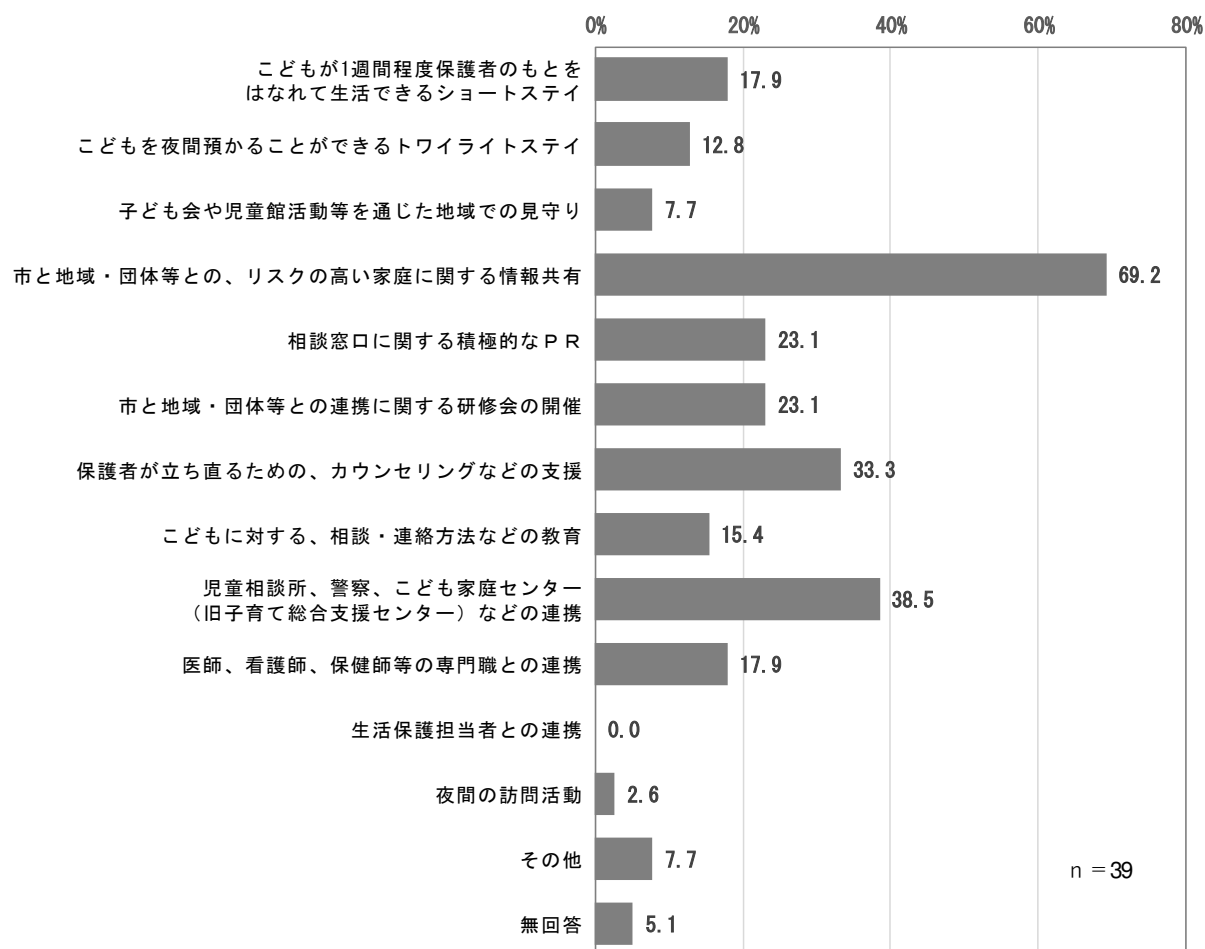
対応の際、苦慮することや困難を感じることは、「関係機関（児童相談所、こども家庭センターなど）との連携」（50.0%）が最も高く、次いで「関係機関（児童相談所、こども家庭センターなど）へ相談すべきかの判断」（10.5%）となっています。



(3) 取り組むべき内容

問7 リスクの高い家庭から子どもを守るために、市や地域、団体等はどのような取り組みをすべきだと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

「市と地域・団体等との、リスクの高い家庭に関する情報共有」(69.2%)が最も高く、次いで「児童相談所、警察、子ども家庭センター(旧子育て総合支援センター)などの連携」(38.5%)、「保護者が立ち直るための、カウンセリングなどの支援」(33.3%)と続いています。



第3章 自由意見

問8 こども・子育て支援に関して、ご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

※原文まま。ただし、明らかな誤字・脱字は修正、個人を特定できるものについては削除しています。

(1) 関係機関の連携について

事業内容	意見等
保育所	現在、見守り対象の家庭はいるものの、リスクの高い家庭と判断した際、関係機関との迅速な連携が取れるのか不安がある。日頃より相談しやすい環境・関係を構築していけるように配慮願いたい。
児童発達支援・放課後等デイサービス	市、児相の対応が遅いように感じます。相談しても、市は児相へ、児相は市へと言われます。
児童発達支援、放課後等デイサービス	危惧する家庭について相談しても、緊急性がないから、今すぐ対応しなくても様子を見てなどと言われることが多い。 何かあってからでは遅いと思い相談しているのに早急な対応はしてもらえない。
児童発達支援、放課後等デイサービス	子供の日常行動に、問題行動が見受けられた場合に、直児童相談所、警察等に連絡するのではなく、子供家庭センター及び学校、児童発達支援相談員、児童デイサービスとの連携を重視し、緊密にカンファレンスを行う等が重要と考えます。 その上で、子供の置かれている家庭環境や学校でのいじめや不登校の原因を、探り子供の目線に添った支援が必要と考えます。

(2) 家庭との関わりについて

事業内容	意見等
認定こども園	出席確認しているこどもは、いずれも兄弟からの SOS だった。家庭内でのことは、外からも助けたいように日頃のコミュニケーションが大切と感じている。同時に、受けとる側の知識もこれからは重要ではないかと感じている。
認定こども園	リスクが高いご家庭のお子さんの保護者に直接働きかける方法が難しい。 あまりしつこいと連絡が取れなくなったりすることもあり、声をかけるタイミングとバランスに悩むことがある。
児童発達支援、放課後等デイサービス	保護者が児童の障がいを受容するのが困難なケースが多いように感じるので、障がいをいかに受け入れるかといった取り組みを行ってほしい。
児童発達支援、放課後等デイサービス	未就園のお子さんへのアプローチはどのように行っているか知りたい。今の現状。

(3) その他の意見

事業内容	意見等
保育所	全ての子どもが安心して環境でいきていくために、岩見沢市という地域だからこそできる支援などを考察検討し、子育てしやすい街づくりをして行けたらと思います。
保育所	現在策定中の「岩見沢市子ども子育て支援計画」においては、岩見沢市としての政策プライオリティを明確にするよう期待します。
認定こども園	岩見沢市は子育て支援に積極的に取り組んでいると認識しているが、保育・教育に携わっている身であるのでそう感じているが、一般の方にはどれだけ浸透しているか？アナウンスの仕方を他市町村（全国的視野）から真摯に学び、検証し直すことが賢明であると感じます。 岩見沢市が掲げている「ひとづくりとまちづくりの一体化」の理念を大切にして取り組んでもらいたい。
児童発達支援、放課後等デイサービス	市のしくみがわかりにくい。事業所に勤務する職員でさえそうなので、一般の方はもっとわからないと思われます。

岩見沢市こども計画策定のための
こども・子育て事業所調査
結果報告書

発行日：令和6（2024）年9月

発 行：岩見沢市

編 集：岩見沢市 健康福祉部 こども未来課 こども・子育て応援係

〒068-0024 岩見沢市4条西3丁目1番地

であえーる岩見沢3階

TEL 0126-35-5133

FAX 0126-25-8833
